

# 【資料2】次期中長期における位置付けについて

## 2025年10月24日 大臣官房総合政策課環境研究技術室















## 次期中長期における位置付けについて

2025.10 大臣官房総政課 環境研究技術室





- 8分野・8研究プログラムを5分野・3研究プログラムに再編
- GOSAT・エコチル調査は引き 続き「中長期目標期間を超えて 実施する事業」として分野・研 究プログラムと別に位置づけ

#### 第6期中長期目標・計画 (案)

- ① 研究成果の社会実装の強化、社会変革への挑戦
- ② 分野横断的な課題解決のための統合的な研究開発
- ③ 長期的・政策的視点からの "不変の原点"
- ④ DX・オープンアクセスの抜本的推進

#### 分野研究

気候変動・適応

資源循環

安全確保

自然共生

地域協働/社会協働

#### 研究プログラム

脱炭素・資源循環・自然再興の同時 実現を加速化させる研究プログラム

自然起点の課題解決(NbS)の実装 と展開に向けた研究プログラム

水・大気・土壌の媒体を横断する環境 汚染に伴う人や生態系への 新たな脅威の包括的把握・解決を 目指す研究プログラム

衛星観測に関する事業

エコチル調査に関する事業

## 次期中長期における位置付けについて

2025.10 大臣官房総政課 環境研究技術室 環境省

### 1. 各分野の研究の着実な発展と総合化

- 今期(第5期)の「基礎・基盤的取組」と「戦略的研究プログラム」を発展的に一体化した『分野研究』を設定して、基礎・基盤から応用的研究(プロジェクト型研究)までを一体的に推進することでつながりを強化。
- 長期モニタリング観測 / 環境試料の長期保存などの知的研究基盤の取り組みは、分野横断的に実施。

## 2. 従来の環境分野を超えた分野横断的・統合的な研究活動の推進

- ネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブの統合化など、分野横断的かつ統合的な取り組みを必要とする研究課題への対応として、新たな『研究プログラム』において、複数分野からの研究参画を得て、新たな時代の要請に対応する研究を戦略的に推進。



